

安城市内景況調査結果 (平成27年10月～12月)

< 来期も今期同様に依然厳しい状態が続いていく見通し >

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 100企業

2. 調査対象時期 平成27年10～12月期

(1)前年同期(平成26年10～12月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成28年1～3月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	22	26	20	32	100
構成比	22.0%	26.0%	20.0%	32.0%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、△5.5ポイントとなった。全産業において借入難度DI以外の全項目が下降判断となった。来期についても今期同様に厳しい状態が予測される。

	前年同期比 (前 回)	前年同期比 (今 回)	来期の 見通し
業況判断	△20.0	△5.5	△6.6
売上高	△18.5	△5.5	△11.0
売上単価	△18.6	△6.6	△5.5
資金繰り	△5.4	△14.3	△16.5
借入難度	8.0	6.6	△1.1
収益状況	△28.0	△9.9	△7.7
雇用人員	△25.3	△26.4	△26.4

凡例▶ 30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全 産 業									
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△5.5		△5.9		△12.0		△17.6		6.2	
	売 上 高	△5.5		△5.9		△16.0		△35.3		12.4	
	売 上 単 価	△6.6		△11.7		△12.0		△11.8		3.1	
	資 金 繰 り	△14.3		△5.9		△28.0		△23.5		△6.3	
	借 入 難 度	6.6		11.8		△4.0		17.7		6.3	
	収 益 状 況	△9.9		△17.6		△8.0		△41.2		9.4	
	雇 用 人 員	△26.4		△17.6		△16.0		△47.0		△28.2	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	△6.6		△17.6		△12.0		△11.7		6.2	
	売 上 高	△11.0		△5.9		△20.0		△11.7		△6.4	
	売 上 単 価	△5.5		△5.9		△16.0		0.0		0.0	
	資 金 繰 り	△16.5		△17.6		△36.0		△5.9		△6.3	
	借 入 難 度	△1.1		△5.9		△12.0		11.8		3.2	
	収 益 状 況	△7.7		△11.8		△20.0		5.9		△3.2	
	雇 用 人 員	△26.4		△17.6		△16.0		△35.2		△34.4	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。